

水道メーターの

リサイクル作業始めます

2015年4月17日 中国新聞

廃棄メーター分解 ▶ 金属とプラを分別 ▶ 利用者には作業賃

福山市上下水道局 就労機会 広げる

福山市上下水道局は、リサイクルする水道メーターについて、業者に引き渡す前の分解、分別を始める。金属とプラスチックを分ける作業を、市内3カ所の障害者就労施設に委託する。事前分別により買い取り価格が上がり、作業賃が確保できる。障害がある人の就労機会をつくるのが狙い。16日、施設利用者が作業を学んだ。（加納亜弥）

3施設は、ジョイ・ジョイ・ワーク引野（引野町南）▽ゆめの木・わかば（沼隈町）▽ほべの木作業所（同）。利

障害者施設に業務委託へ



水道メーターの分解作業の手ほどきを受ける藤本さん（左）と後藤さん（右）

用者は、メーターの金属ケースからプラスチックの計器類を取り出し部品ごとに分ける。この日は同局職員がジョイ・ジョイ・ワーク引野で作業のこつを指導した。特殊な工具や木づちを使い、ケースやガラス、計器類に分けた。作業した藤本

直人さん（18）は「流れは覚えたので、続けられるように頑張ります」。後藤沙綾さん（19）も「木づちでたいたいて部品を外すのは難しいけど、できたら楽しい」と笑顔だった。

同局は計量法改正に伴い、2011年度に新基準のメーターを導入。古い基準のメーターを15、19年度に年間1万2千〜2万1千個更新する予定でいる。うち年間1万個の分解を3施設に委託する。

同局によると、業者に渡す前に分別を済ませた場合、買い取り価格は1個当たり100円程度高くなるという。差額分から金属以外の産業廃棄物処分費などを引いた58円程度が、1個分の作業賃となる。

同局給排水課は「市が障害者の就労機会を率先してつくることで、民間にも動きが広がってほしい」としている。